

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2015年4月18日 報告者: MY

山行名	高尾さくら保存林観桜ウォーキングと多摩御陵・武蔵御陵参拝 [東京都]		
実施日	平成27年4月15日(水) 日帰 公共交通機関利用		
天候/参加人員	天候:晴一時小雨 レベル:★ 参加者:申込15名/実施13名(男3名/女10名)		
パーティスタッフ	CL/計画/写真:、SL:、会計:なし、救護:、 <span style="color:blue">スタッフ名削除</span>		
参加メンバ	A班:(班長)、 B班:(班長)、 <span style="color:blue">参加者氏名削除</span> C班:(班長)、		
費用 一人;1,822円 (本厚木起点)	約1,822円(交通費¥1,422+入園料¥400) 交通費 小田急(本厚木-町田@247x2)¥494、JR(町田-高尾@464x2)¥928/交通費計1,422、 さくら保存林入園料 ¥400		
	歩行時間	休憩時間	行動時間
ガイトブック	—	—	—
計画	3:40	2:00	5:40
実行*	3:04	1:04	4:08
歩行距離:約8km 歩行数:約15,000歩 *前回実績値:歩行3:35/行動時間5:00			
実行コースタイム記録			
小田急/JR横浜線/JR中央線 0:11(高尾さくら保存林入口) 0:47(昼食) 0:44			
本厚木==町田==橋本==八王子==JR高尾駅—多摩森林科学園正門—さくら保存林展望ベンチ—多摩森林科学園正門			
8:30	8:46/8:55	9:15/9:19	9:32/9:34
		9:41/9:45	9:56/10:03
			10:50/11:26
			12:10/12:20
0:20	0:28		0:12
			0:22 JR中央線 JR横浜線
—御陵正門—《武蔵陵・多摩陵参拝》—御陵正門—南浅川橋下—JR高尾駅==八王子==町田(解散)			
12:40		13:08	13:20/13:31
			13:53/14:00
			14:07/14:09
			14:32
コースの概要、特記事項、反省事項等			
<p>TTC主催山行として、高尾さくら保存林の観桜ウォーキングを実施するのは、2003年4月22日(火)の平日山行以来、12年振り。今回は、前回より実施時期を1週早めて4/15に[ゆった〜り山行]として計画した。1週早めると、見頃の桜の種類も前回とはかなり違いがあるものと期待される。因みに、このさくら保存林は、もともと農林水産省が管理する実験林の一部で、日本の沖縄から北海道に自生する桜とその園芸種を合わせ、約493品種/約1300本が植栽・保存されており、開花時期の2/下~5/下の期間に、一般開放されている。</p> <p>当日の天気予報は、数日前から、寒気のなだれ込みにより、午後は、関東地方は突然の夕立、落雷、雹、突風が発生する可能性が高いので、嚴重に注意するようにとのアドバイスが流れていたが、現地の状況を熟知しているCLとしては、当日午前中の天候が持てば十分実施できると判断。SLとも相談して、予定どおり実施することにした。当初15名の参加申込があり、その後キャンセルが2名あり、当日参加13名での実施になった。</p> <p>予想に反して、当日朝は曇一つない快晴。参加者13名全員がJR町田駅に集合し、電車を乗り継いでJR高尾駅に向かう。何しろ平均年齢70歳超のシニア中心のパーティ。ちょっと目を離したすきに、乗換ホームで反対方向の電車に乗りそうなメンバもいて、CLとSLは気が抜けない。JR高尾駅舎の天狗の面に見送られて、竹田信玄軍と元八王子城主北条氏照軍が激戦を繰り広げた廿里の古戦場跡の坂を登って、多摩森林科学園正門からさくら保存林に向かう。入口から10分歩いてさくら保存林に到着したころ、空模様が怪しくなり、雨がぱらついてきたので、あわてて傘を取り出したが、10分もしたら止んでしまった。保存林の散策を終わるころにもう一度小雨が落ちてくる場面があったが、これも5分ほどで止んでしまった。</p> <p>夫婦坂の急坂を登って行くと、まず、八重咲薄紅色の「楊貴妃」に歓迎を受けると、後は次から次へと、色とりどり、大小、八重/一重の花を付けた桜花が斜面を染め上げ、私たちを歓迎してくれた。名札で桜の名前を確認すれども、馴染みのない名称が大半で、脳の記憶装置内を、右から左に通過するのみで、桜の姿と名前をほとんど記憶に留められない。</p> <p>中通りから見返り通りを回って、桜林が一望に見渡せる斜面に段々状のベンチがしつらえてある閑山ベンチに陣取り、早めのランチを楽しむ。すぐそばには、京都仁和寺の御室桜の大木が見事に満開の花を咲かせいた。花期の遅い黄緑色の八重咲きの「御衣黄」と「ウツ」はやっと開花し始めたことのようなのだ。食事後、遠見通り、柳沢林道を回り、数えきれない種類の桜花を堪能し、約2時間にわたる観桜ウォーキングを終了。すぐ東隣にある多摩陵・武蔵陵に向かった。</p> <p>陵正門から北山杉の大杉並木が続く玉砂利の参道を進んだ奥に大正天皇の多摩陵、その右隣に同皇后の多摩東陵、さらに右隣に昭和天皇の武蔵陵、さらに東隣の同皇后の武蔵東陵の4つの御陵を順番に参拝した。武蔵陵と同東陵に天幕が張ってあり、正門付近に「明日朝から1:30pmまで一般の参拝はできない旨」張り紙があったので、御陵警備中の皇宮警察の婦警さんに尋ねてみたところ、明日午前中、天皇ご夫妻が、パワ慰霊訪問のご報告のため、武蔵陵を参拝されるため、その準備中との答えであった。なお、多摩陵の西隣には、現天皇の御陵建設工事が始まっている様子だった。帰りは竹並木から、桜並木が続く南浅川の遊歩道を、正面に高尾山を望みながら、新緑と桜並木の景色を堪能しつつ、高尾駅に戻った。</p>			